



令和5年(2023年)第20週 2023年5月15日(月)~2023年5月21日(日)

# 熊本市 感染症発生動向調査 速報



丁寧な手洗いを心掛けましょう。

咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナが増加しています。

## 感染性胃腸炎(ウイルス性胃腸炎)について

ウイルス性胃腸炎は、ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなどのウイルスの感染で起こる胃腸炎です。吐き気やおう吐、下痢、腹痛、発熱などが起こります。ノロウイルスによる胃腸炎では、小児ではおう吐、成人では下痢が多い傾向にあります。ロタウイルスによる胃腸炎では、おう吐、下痢(白色便)、発熱がみられ、乳児ではけいれんを起こすこともあります。

・**感染経路**…ノロウイルスの感染経路は基本的に経口感染ですが、①食品媒介感染(食中毒)②接触感染③飛沫感染・塵埃感染の3つに区分することができます。・**流行期**…ノロウイルスによる胃腸炎は11月~3月、ロタウイルスは3~5月に多い傾向があり、アデノウイルスは年間を通してみられます。

### ◆かかったらどうすればいいの？

・特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法がおこなわれます。  
・乳幼児や高齢者では、下痢などによる脱水症状をおこすことがありますので、早めに医療機関を受診しましょう。

特に高齢者では、吐物が気管に入り誤えん性肺炎をおこすことがあるため、様子の変化に注意しましょう。

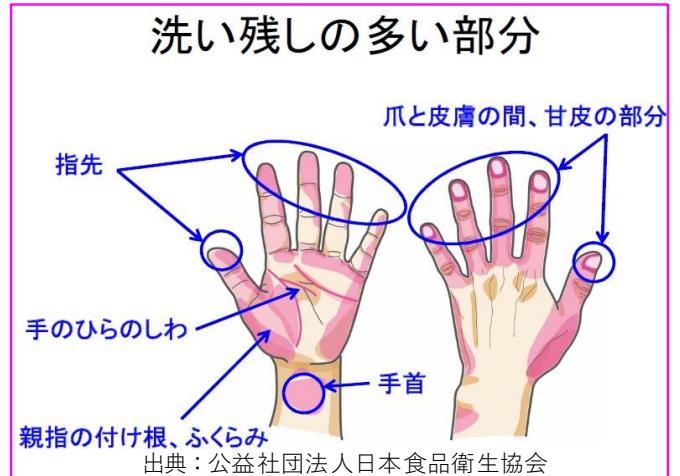
・おう吐の症状がおさまったら少しずつ水分を補給し、回復してきたら消化の良い食事をとり、安静に努めましょう。

### ◆予防法は？

・帰宅時や調理前、食事の前、トイレの後などに、**流水と石けんでよく手を洗いましょう。**

・二次感染を防ぐため、患者の便や吐物の処理は、直接触れないよう使い捨て手袋やマスクを着用し、汚染された衣類や床などは、**次亜塩素酸ナトリウムや熱湯等でしっかり消毒**しましょう。

厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」QRコード



定点 種別	期 間	2023年 19週		2023年 20週	
		5/8~5/14		5/15~5/21(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
小児科	インフルエンザ	47	1.88	61	2.44
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	40	1.6	44	1.76
	RSウイルス感染症	4	0.25	5	0.31
	咽頭結膜熱(プール熱)	3	0.19	11	0.69
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	0.63	16	1.00
	感染性胃腸炎	85	5.31	129	8.06
	水痘(みずぼうそう)	1	0.06	0	0.00
	手足口病	1	0.06	4	0.25
	伝染性紅斑(りんご病)	0	0.00	0	0.00
	突発性発しん	11	0.69	14	0.88
眼科	ヘルパンギーナ	12	0.75	24	1.50
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0	0.00	0	0.00
基幹	急性出血性結膜炎	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	4	0.80	3	0.60
	細菌性髄膜炎	0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎	0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0.00	0	0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0	0.00	